

ログインユーザー を 追加するための手順

ログイン(ユーザー選択) から始めるプログラムは
統合版
と呼んでいます

この箇所に表記される
個人名の追加方法をご説明します

*** ご注意 ***
登録できる人数には限りがあり、
ご契約内容に基づいて
決まっております

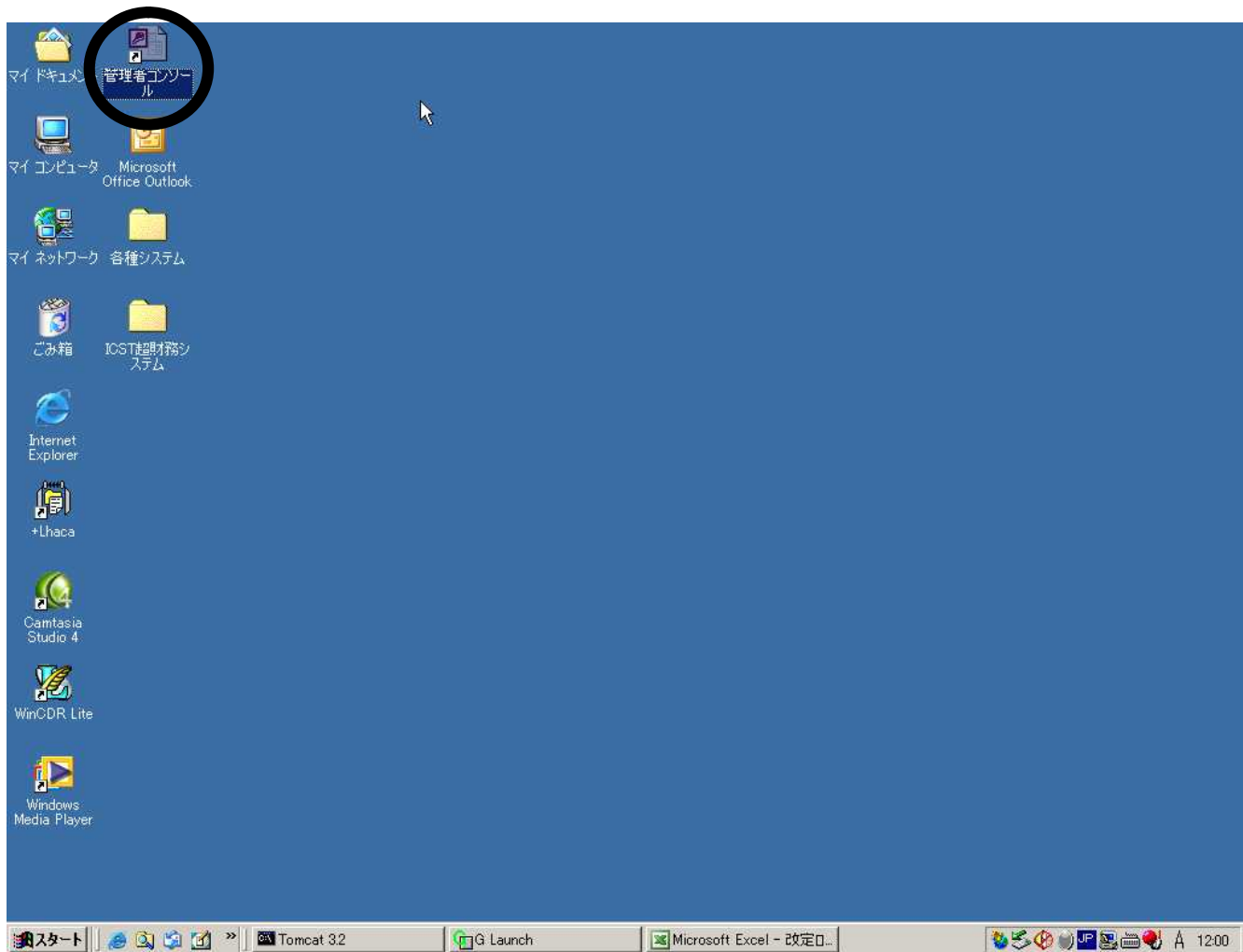
これからの作業においては、管理者コンソールという、アプリケーションを利用します

主な作業の流れは、

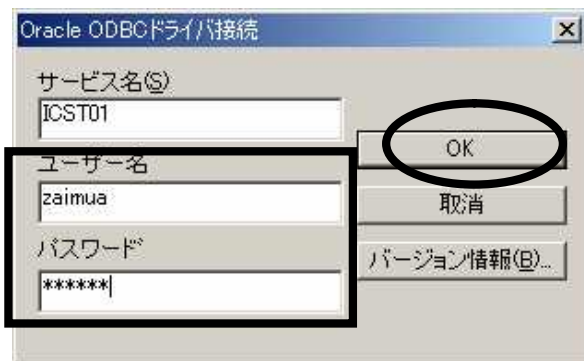
- 管理者コンソールを起動させる
- システム管理者を選択する
- メインメニュー5. 導入時、利用者追加時に行う処理
 - 1.ユーザー(利用者)登録
 - 2.グループ(ユーザー)登録
 - 3.ユーザーとグループ関連付け
 - 4.ログイン表示設定
- メインメニュー3. 会社ごとの設定を変更する
 - 3.会社利用者登録設定
 - 5.入力者登録修正
 - 8.ログインユーザーと利用者の関連付け

となっています。

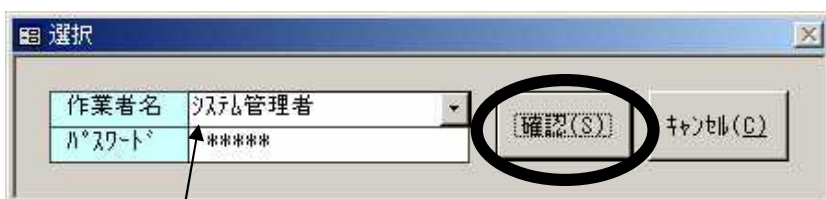
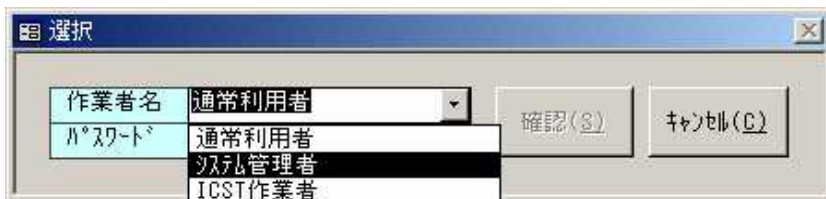
次ページ以降、各内容を ご説明します



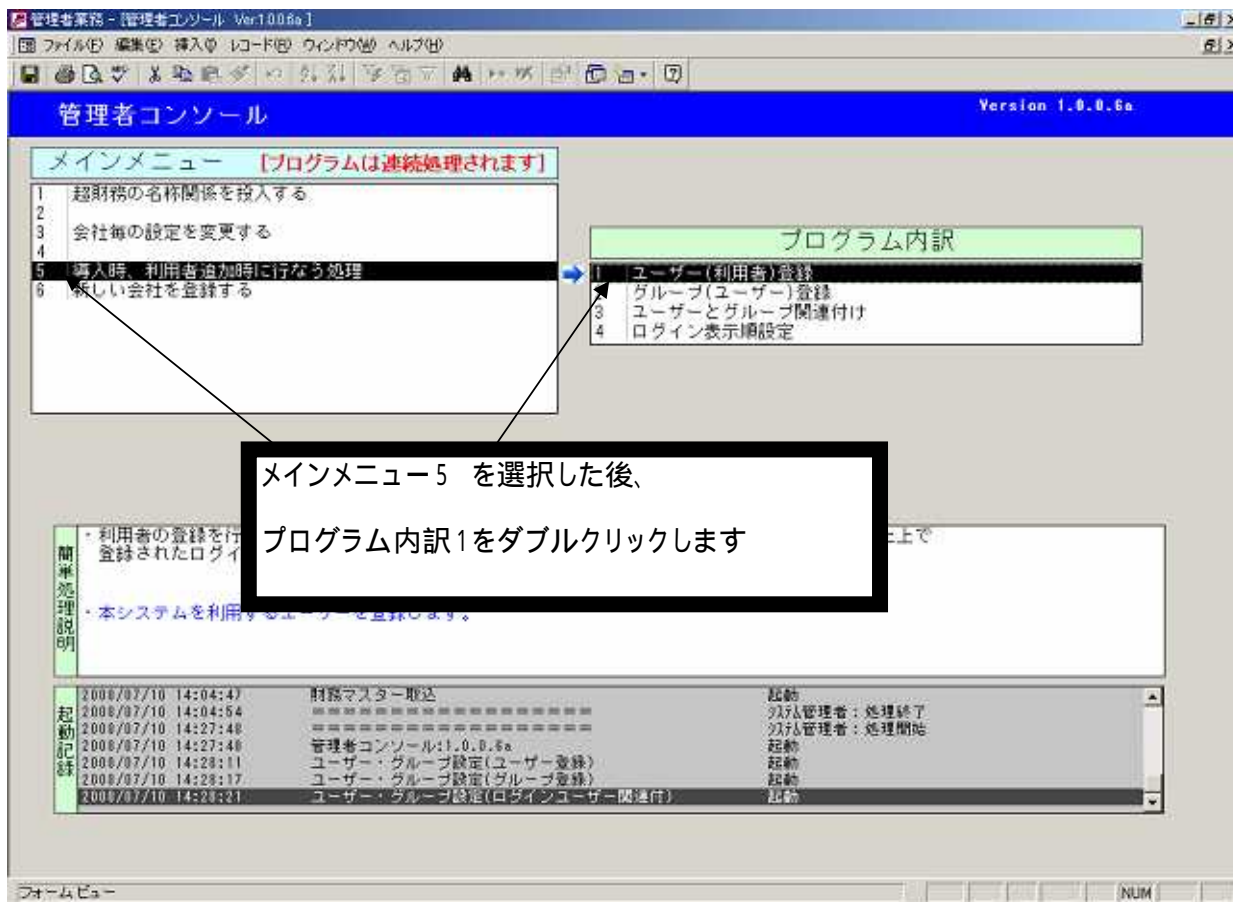
管理者コンソール(または管理者業務)のアイコンを起動します。



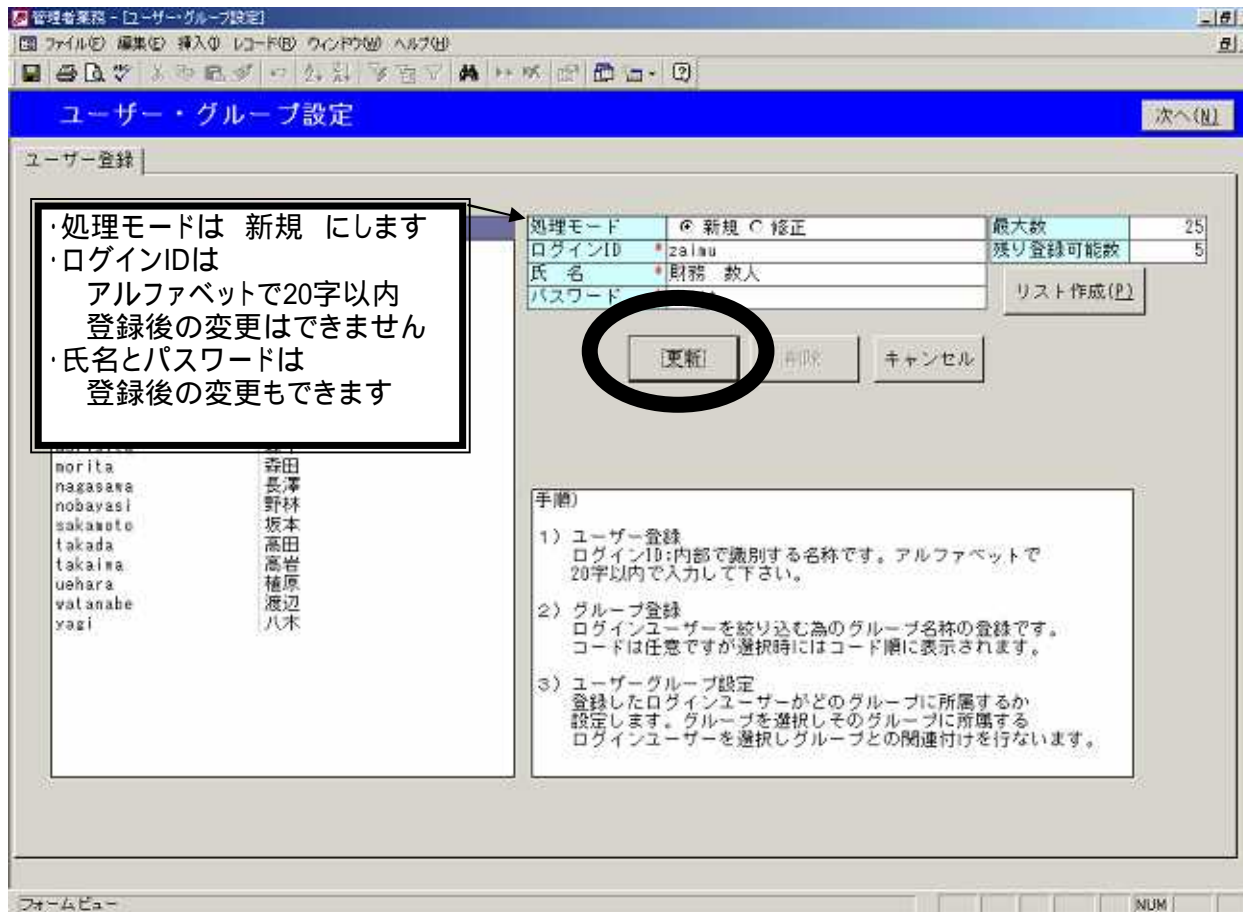
OracleODBCドライバ接続は、
ユーザー名・パスワードとも入力し、OKを押します



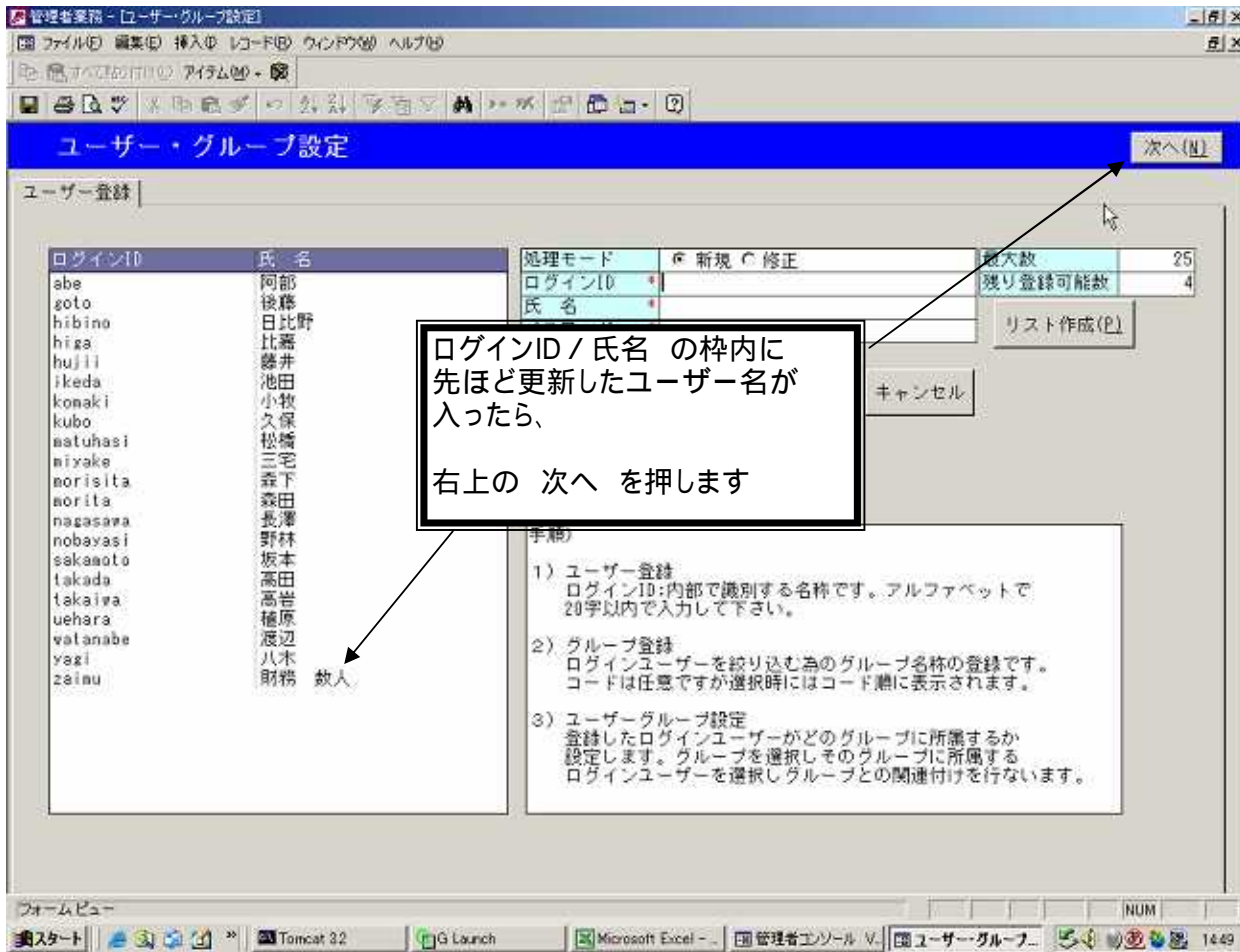
作業名は、システム管理者を選択してください
パスワードを入れて、確認を押します



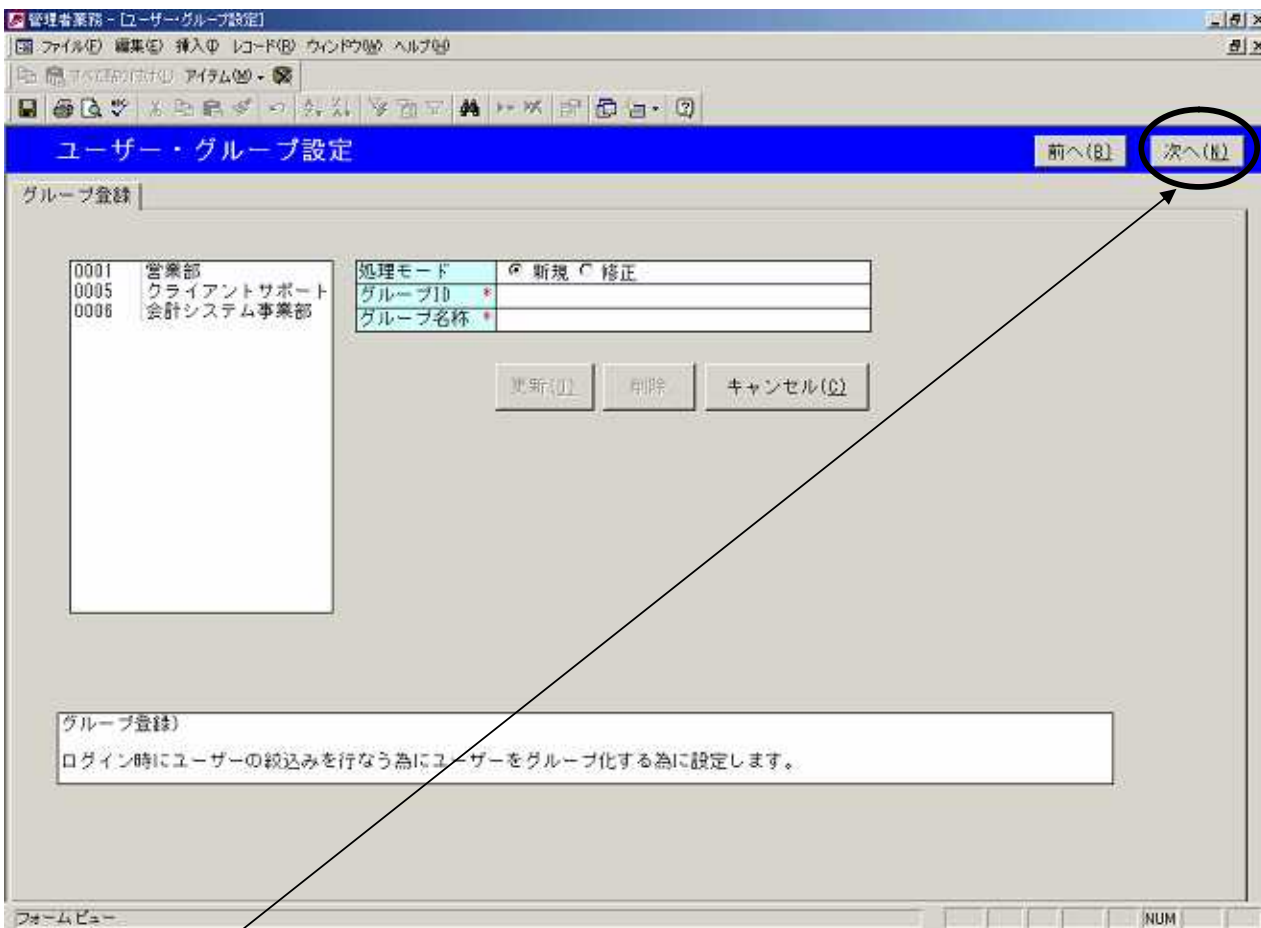
メインメニュー 5.導入時、利用者追加時に行う処理 の中の
プログラム内訳 1.ユーザー(利用者)登録を選びます



処理モードが、新規に設定してある状態で、
ログインID、氏名、パスワードを入れて、更新を押します
* ご注意 *
氏名とパスワードは、事後の変更可能ですが、IDは変更できません



ログインID / 氏名 の枠内に表示が加わりましたら、右上の 次へ を押します



右上の 次へ を押します

*もしも、左上のグループリストの中に、今回の新規ユーザーが属するもの
なければ、中央の枠内で、新規作成することができます。

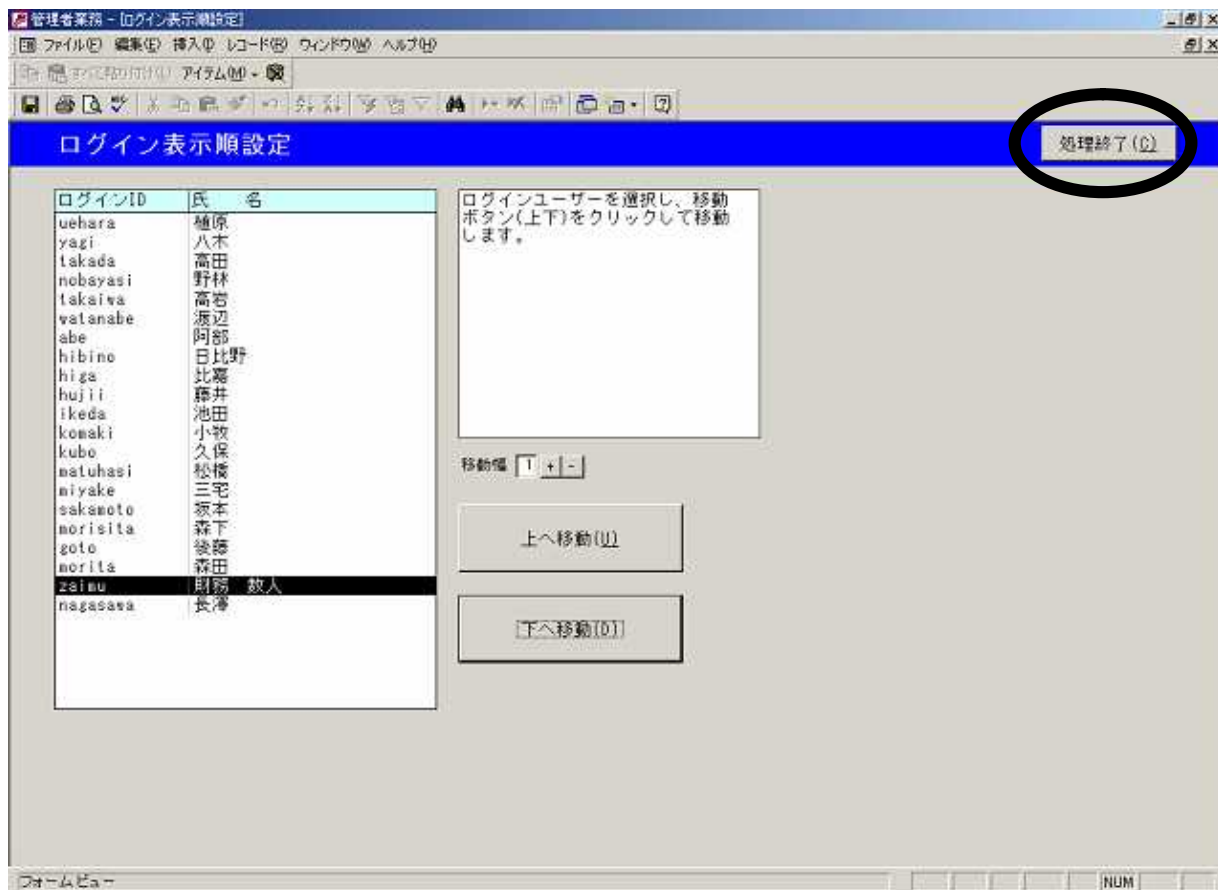
EX) マーケティング部 など



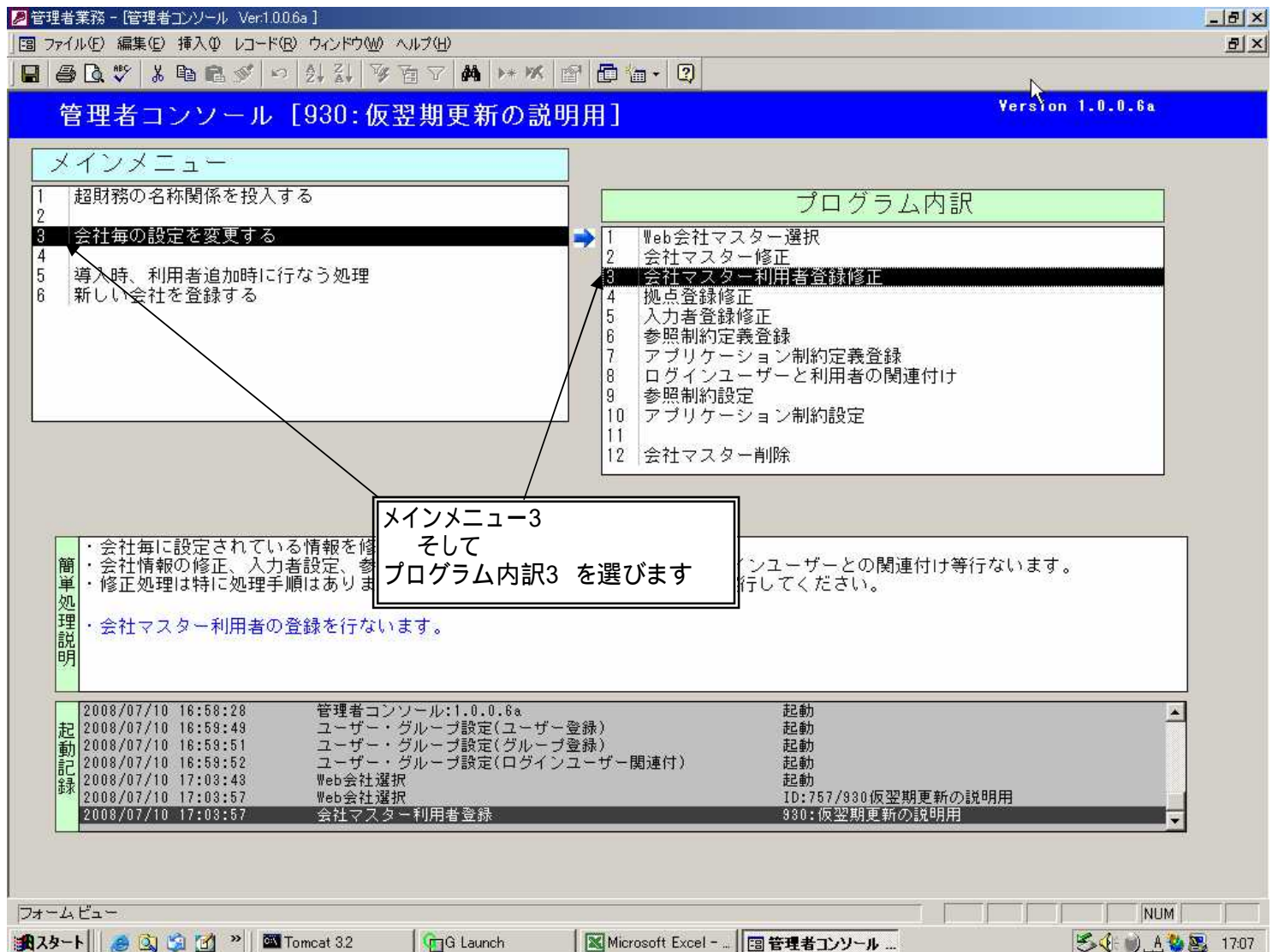
左のグループ一覧から、加入させたいグループを選び
右の所属グループ未設定ユーザーから、新規ユーザーを選びます
左右とも選択された状態で、<< ボタンを押します



中央の枠内に追加されたら、右上の次へ を押します



最初の ログイン(ユーザー選択)に現れる順序を、この画面で上下させることができます。
 思うような位置に、配置できたら、右上の 処理終了 を押します



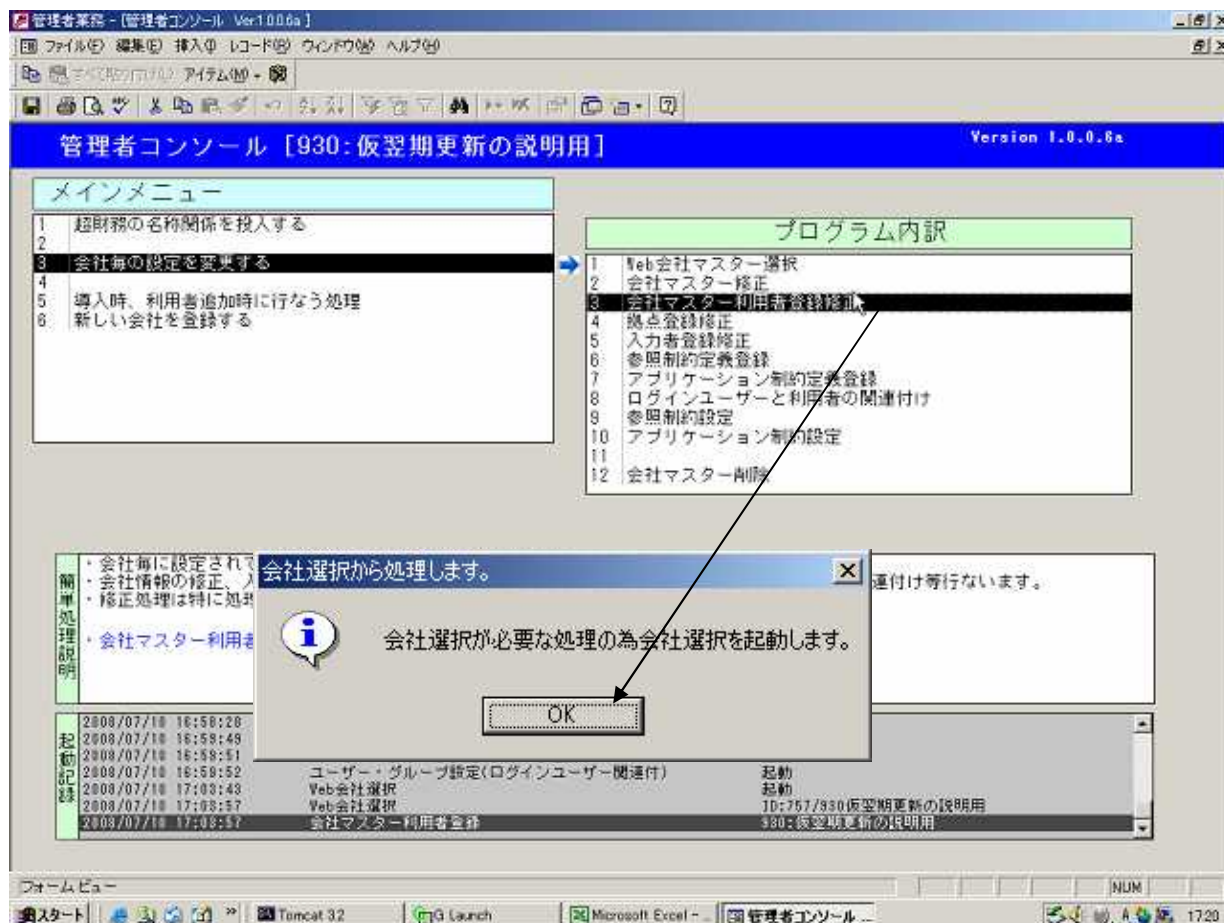
元の画面に 戻りました。

この先は、
メインメニュー3.会社毎の設定を変更する の中での処理になります

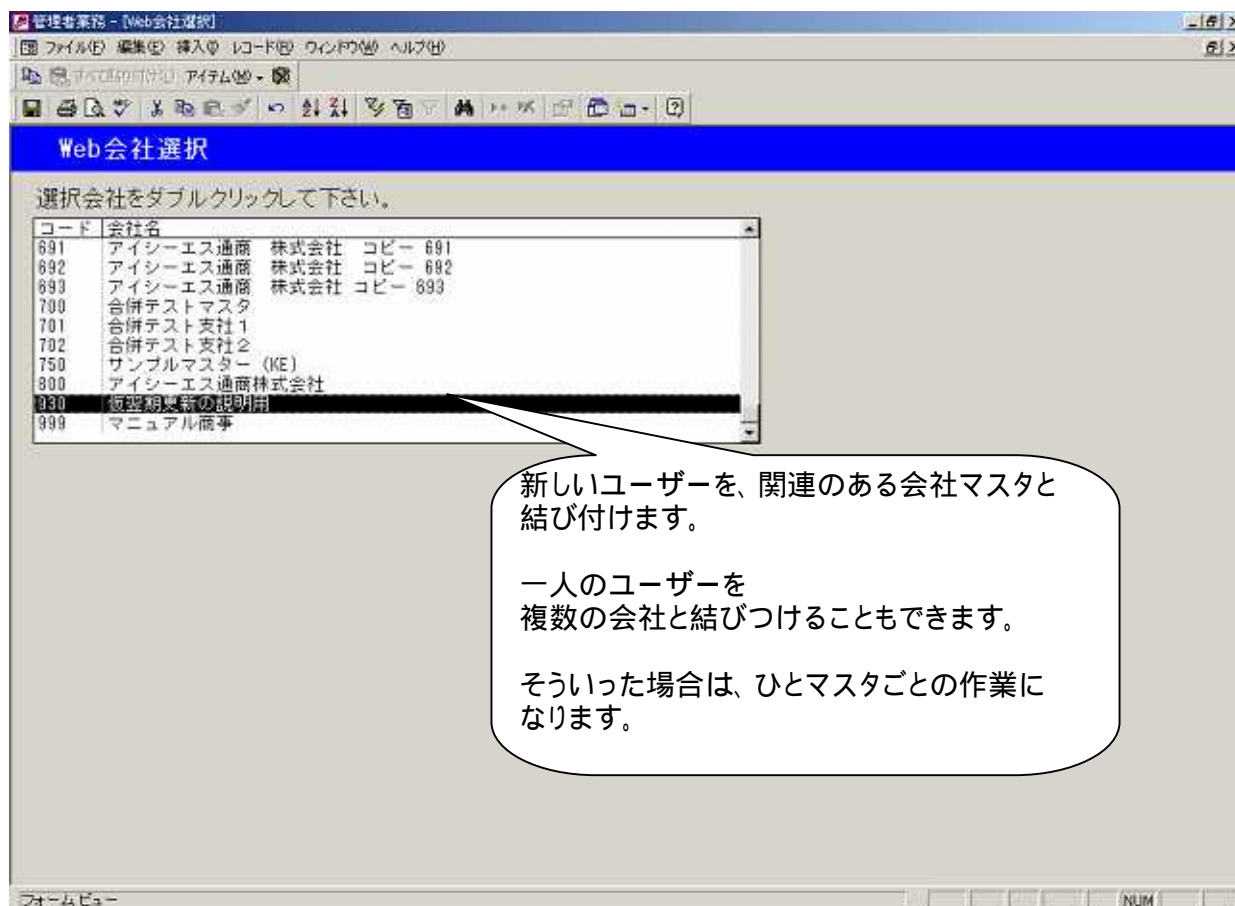
メインメニュー3.会社毎の設定を変更する の中で
プログラム内訳を選ぶ順序と意味あいは、下記のとおりです

- 3.会社マスター利用者登録設定 - 新規ユーザーとWebマスタを結びつける
- 5.入力者登録修正 - 新規ユーザー用の入力者を登録する
- 8.ログインユーザーと利用者の関連付け - 新規ユーザーに入力者設定と参照設定を当てはめる

1人のユーザーを、複数の会社マスタとつなげることもできます
そういった場合は、
メインメニュー3.会社毎の設定を変更する 作業を
関連付ける会社マスタの分だけ 繰り返していただきます



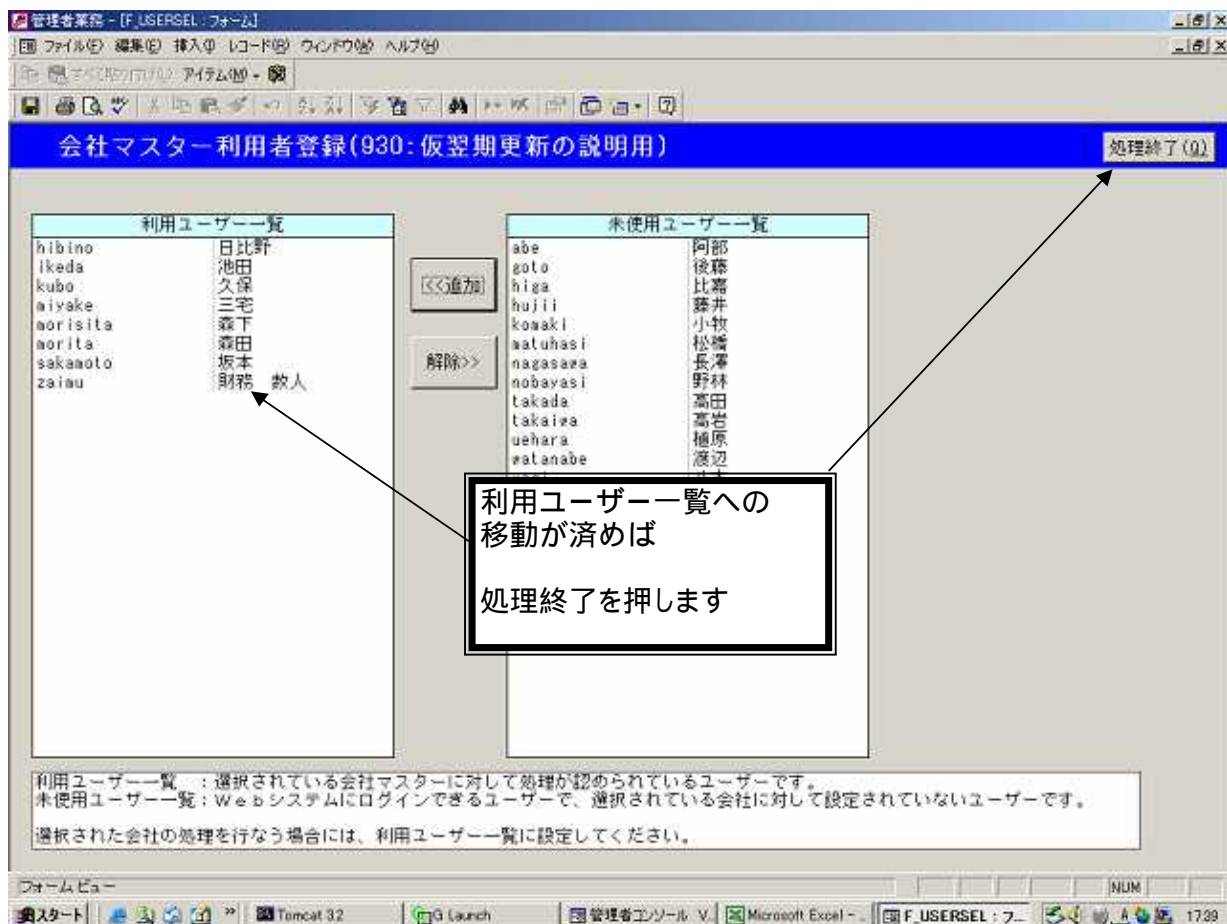
メインメニュー3.会社毎の設定を変更する
 プログラム内訳 3会社マスター利用者登録修正 を選びます
 OK を押します



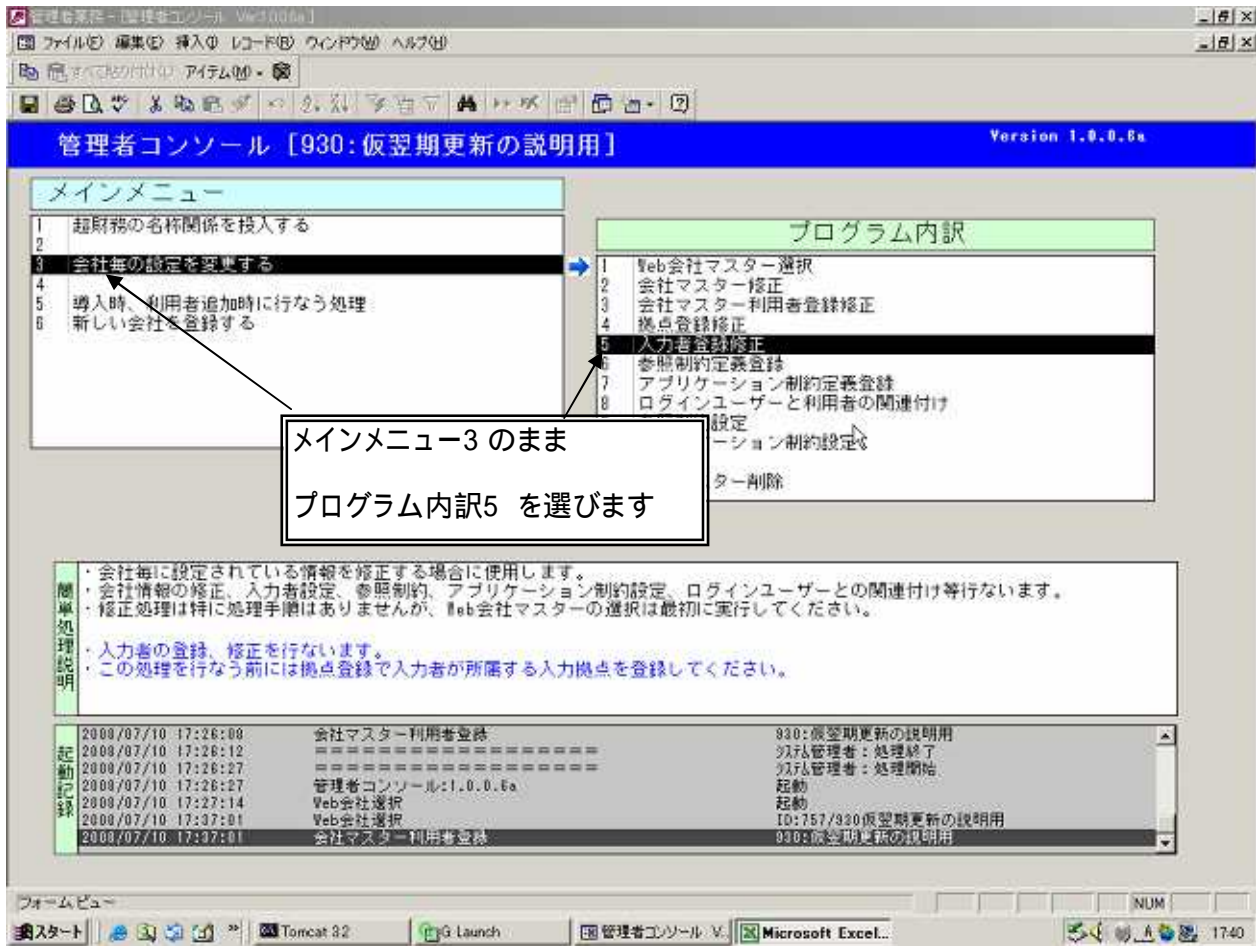
選択会社をダブルクリックします。



右の未使用ユーザー一覧から
<<追加を 用いて
左の利用ユーザー一覧へ 移動させます



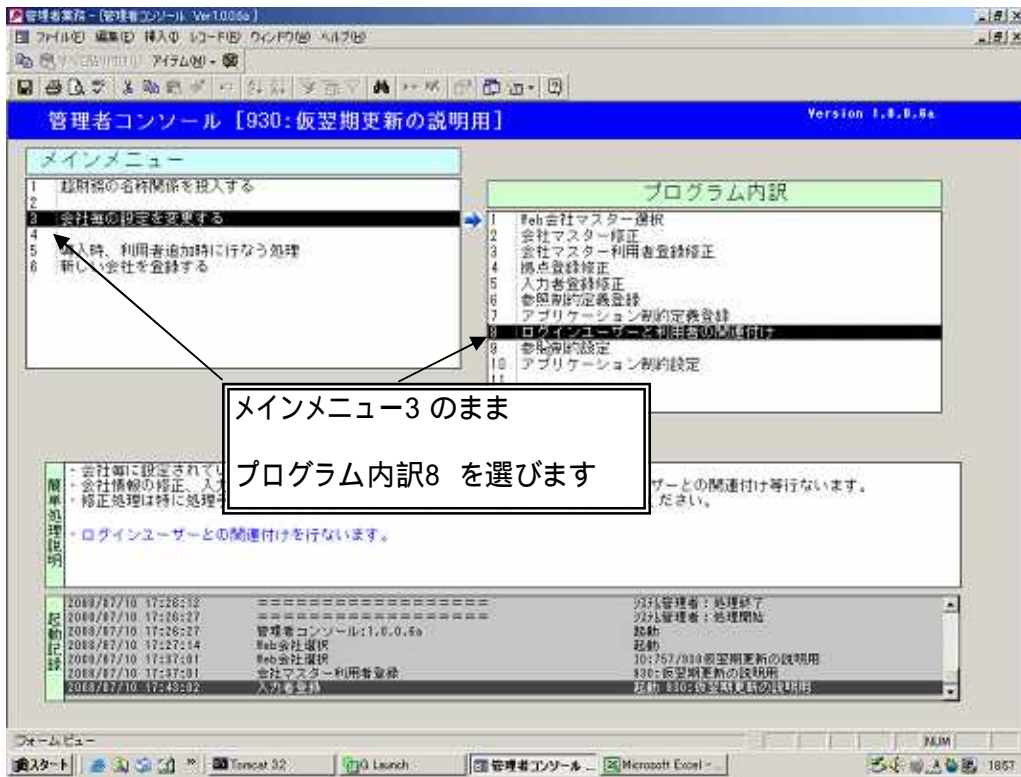
移動が済めば、右上の処理終了 を押します



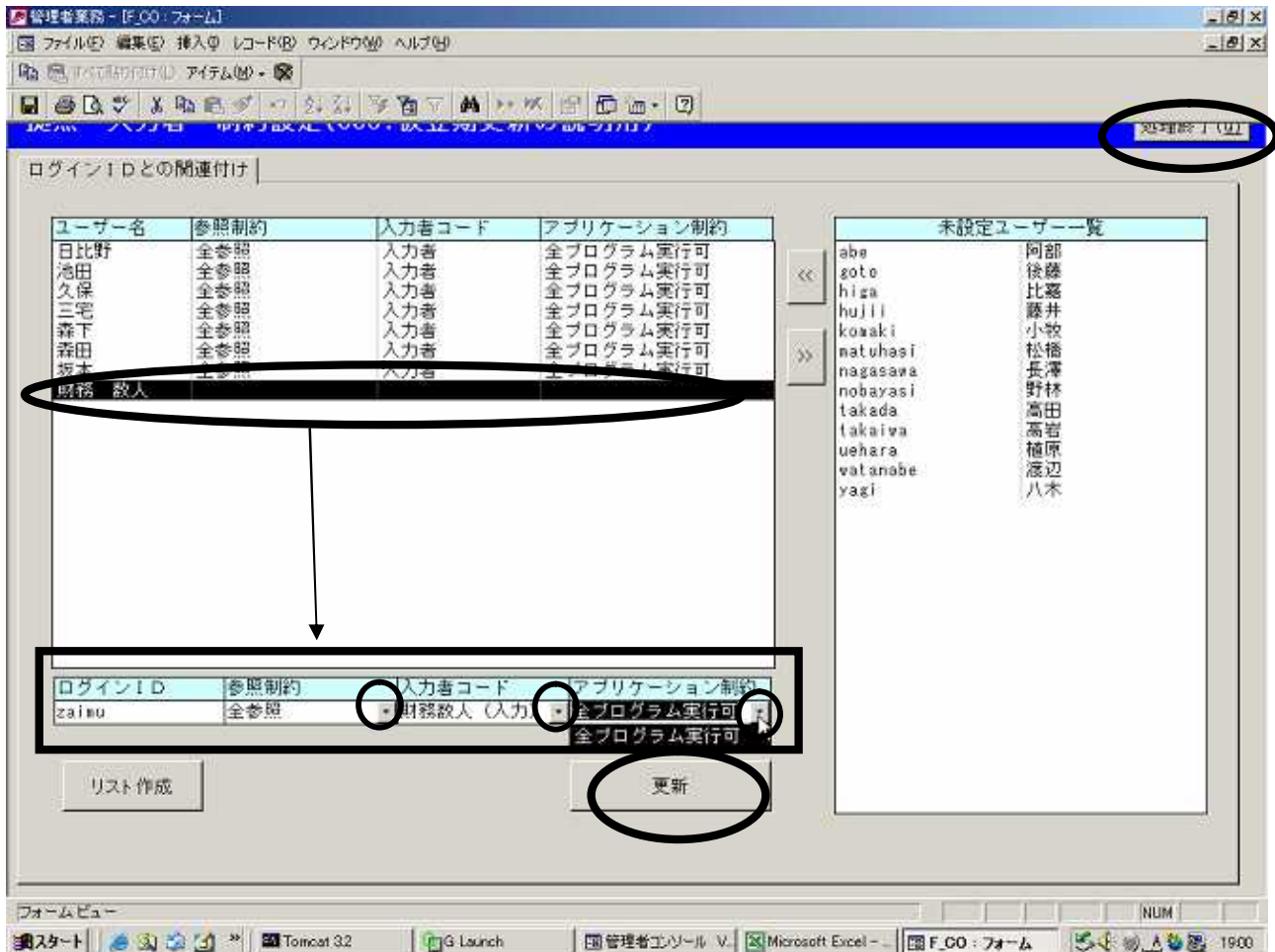
プログラム内訳5.入力者登録修正 を選びます



新規の入力者登録を行います
内容登録が済めば、更新を押します。
さらに、右上の処理終了を押します



プログラム内訳8.ログインユーザーと利用者の関連付け を押します



左上の大きな枠の中から、新規ユーザーを選び
 左下の枠の中から、順に、参照制約、入力者コード、アプリケーション制約を設定し、
 更新を押して
 右上の処理終了を押します
 以上で終了となります。